



# 桜美林大学日本語文化学院 (留学生別科)

## 2020 年秋入学募集要項

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 出願から入学まで  | 4. 出願書類      |
| 2. コースと特色    | 5. 検定料と学費の支払 |
| 3. 募集人員と出願条件 | 6. 選考方法と合否発表 |

(問い合わせ先・書類送付先)

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1 桜美林大学 日本語文化学院

TEL: +81-(0)42-704-7041

E-MAIL: [rywx@obirin.ac.jp](mailto:rywx@obirin.ac.jp)

電話受付時間: 平日 午前 9 時～午後 5 時

### 1. 出願から入学まで

1期	スケジュール	2期
2020年2月17日(月)～ 3月18日(水)	WEB 出願及び検定料支払(※事情により不可能な場合、問い合わせより連絡のこと)	2020年3月19日(木)～ 4月24日(金)
～2020年4月3日(金)	出願書類の提出	～2020年5月8日(金)
～2020年4月3日(金)	選考 ※書類審査、WEB 面接を実施	～2020年5月8日(金)
2020年4月10日(金)	合否発表 ※合格者には合格通知書と入学手続書式をメール送信	2020年5月15日(金)
2020年4月10日(金)～ 4月20日(月)	入学金・学費の納入 合格者から日本語文化学院入学へ手続書類のメール送信	2020年5月15日(金)～ 5月25日(月)
2020年5月上旬	在留資格認定証明書交付申請 ※日本語文化学院が代理申請する	2020年6月上旬
2020年7月下旬～8月下旬	在留資格認定証明書・入学許可証の発送	2020年7月下旬～8月下旬
2020年7月下旬～8月下旬	自国にて査証(ビザ)申請	2020年7月下旬～8月下旬
2020年8月下旬	日本入国	2020年8月下旬

## 2. コースと特色

桜美林大学日本語文化学院(以下:本学院)は、日本留学を希望する外国人留学生のための、最も理想的な予備教育機関の一つである。標準修業年限は1年であるが、進学先が決まった場合、半年(1学期)でも修了可能である。後期授業料は返還)学習コースは次の4つ。

### A. 大学院進学コース:

大学院入学を希望する留学生が、大学院での勉学に必要な日本語力を修得し、必要な専門知識を学ぶためのコース。(日本語能力試験N1に合格していることが望ましい。)

### B. 大学編入コース:

大学3年次編入を希望する留学生が、大学3・4年次での勉学に必要な日本語力を修得し、必要な専門知識を学ぶためのコース。(日本語能力試験N2に合格していることが望ましい。)

### C. 大学進学コース:

大学1年次入学を希望する留学生が、大学入試レベルの日本語力、その他の学力の修得、および日本留学試験高得点や日本語能力試験N1合格を目標とするコース。

### D. 日本語学習特別コース:

大学または大学院に在学中の者で日本における研究目的のための日本語学習短期留学コース。(大学院在学学生は研究計画書の提出が必要。)

(本学院の主な特色)

- ① 出願者の進学先の専門を問わない。
- ② 学習指導はもとより、進学指導も徹底して行う。
- ③ 桜美林大学の科目が履修でき、成績証明書も発行される。修得した単位は、桜美林大学に進学した場合、規定により認定される。(なお履修にはいくつかの条件がある)
- ④ 大学生と同様に学内の施設や設備の利用ができる。
- ⑤ 大学生・大学院生、留学生との交流の機会が多い。

## 3. 募集人員と出願条件

### (1)募集人員

60人(春・秋の2回で年間120人)

### (2)出願条件

- ① 外国における12年間の課程を修了し、大学入学時に18歳以上であること。  
(指定修学期間等、国家により事情が異なる場合は個別に問い合わせより連絡のこと。)
- ② 日本語力が日本語能力試験 N5相当以上(※1)、または教育機関から直近の日本語学習時間が150時間以上の証明書を発行できること。
- ③ 進学や研究を目的とし、十分な学習意欲を持ち合わせている者であること。
- ④ 日本国内の他の日本語教育機関で在籍した期間が、本学院入学前まで1年を超えていないこと。
- ⑤ 日本での留学生活に必要な経費を支弁する能力があること。
- ⑥ 在留資格の不交付歴がないこと。

※1参考:日本語資格試験スコア比較表 (どれか一つ以上取得していることが望ましい)

名称	スコアまたは時間
日本語能力試験	N5
NAT-TEST	5級
J.TEST	F級
日本語学習時間	150時間

## 4. 出願書類

### 出願書類一覧

		出願書類 (第1期送信締切日:2020年4月3日) (第2期送信締切日:2020年5月8日)		○全員必須 △該当者のみ	提出方法	日本語 訳文	注意事項	
		※データは本学院にメール添付してください(PDF不可) ※証明書はPDFで本学院にメール添付してください ※提出された書類は、合否にかかわらず返還しません ※証明書は必ず2020年2月1日以降に発行され、かつ母語で記載されたものをご準備ください		最終学歴 卒業生      在学生		出願時はデータ添付で良いですが、 <b>原本</b> を提出いただく場合がありますので、原本は大切に保管しておいてください	※証明書は「発行機関名」「部署」「発行機関の住所、電話番号」「発行者氏名」などが掲載されている原本をご準備ください ※日本語以外の言語は日本語訳文を添付してください<書式自由>翻訳者は問いません	
1	志願者本人	写真(5枚)	○	○	データをメール添付	-	縦4cm×横3cm、脱帽・上半身・正面・背景なしのもので同一写真、6ヶ月以内の撮影。裏面に氏名・生年月日・国・地域を記入してください	
2		履歴書 (様式1～様式2)	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	・ExcelファイルにPC入力し、印刷してください ・様式2下部の出願者氏名は必ず <b>直筆</b> で署名をしてください	
3		就学理由書(様式3)	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	・500～600字程度、具体的に書いてください ・日本語で書ける者は日本語のみの提出でよいです ※詳細はエントリー後に本学院よりメール送信する「記入例」をご参照ください	
4		別科調書(様式4)	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	ExcelファイルにPC入力してください ※支弁者提出資料と矛盾の無いようご注意ください	
5		成績証明書(日本語学校を除く)	○	○	PDFをメール添付	要 (Wordデータをメール添付)	全学年、全科目の成績や単位が載っているものを提出してください ※留学籍(1年未満)のある者は在籍していた日本の学校の「出席証明書」「成績証明書」も提出してください ※在学生は卒業後に全成績が載っている最終の証明も提出してください	
6		・卒業証書コピー ・卒業見込証明書	卒業証書コピー	卒業見込証明書	PDFをメール添付	要 (Wordデータをメール添付)	在学生は卒業後に「卒業証書コピー」も提出してください ※中国の四年制大学卒の学生は「学位証書コピー」も提出してください	
7		「日本語能力試験」「BJTビジネス」「J.TEST実用日本語検定」「日本語NAT-TEST」「標準ビジネス日本語テスト」「TOPJ実用日本語運用能力試験」「日本留学試験」等の成績表  ※上記の公的試験未受験者は日本語教育機関発行の「日本語学習証明書」	○	○	【日本語公的試験】PDFをメール添付  公的試験未受験者「日本語学習証明書」PDFをメール添付	【日本語公的試験】不要  公的試験未受験者「日本語学習証明書」日本語表記のため不要	【日本語公的試験】成績や点数が載っているものを提出してください  ※公的試験未受験者は「日本語学習証明書」を提出してください ・現地日本語教育機関の書式で作成、発行されたもの(日本語表記) ・氏名、生年月日、性別、学習期間、出席率、履修内容、コース名称、当該コースの終了目標レベル、使用教材名が記載されたもの ※中学・高校・大学で日本語を継続的に学習し、成績証明書がある者は、提出不要	
8		パスポートのコピー	○	○	PDFをメール添付	不要	・有効なパスポートの顔写真ページのコピーを提出してください ※過去に日本に『留学』の在留資格で入国歴のある場合は、在留資格シール、出入国日のスタンプページのコピーも提出してください ※パスポート未取得者は、自国でビザを申請する際必要になるので、早急に取得してください	
9		経費支弁者	経費支弁書	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	・ExcelファイルにPC入力し、印刷してください ・経費支弁者の氏名は必ず <b>直筆</b> で署名をしてください ※詳細はエントリー後に本学院よりメール送信する「記入例」をご参照ください(支弁方法は各自ご家庭の状況に合わせて書いてください)
10			親族関係公証書	○	○	PDFをメール添付	要 (Wordデータをメール添付)	公的機関が発行したものを提出してください ※出願者と経費支弁者の関係が載っている証明です
11			残高証明書	○	○	PDFをメール添付	不要	経費支弁者の150～200万円相当の銀行残高証明書 ※凍結期間は6ヵ月～1年が望ましいです

※国籍・地域により、上記以外の追加書類を求める場合があります。その際にはエントリー完了後に本学院よりエントリー者へ必要書類の案内をいたします(必要書類:経費支弁者の家族一覧表、経費支弁者の家族構成を立証する資料、在職証明書、収入および納税証明書(過去3年分)、資金形成過程立証資料(過去3年分)など)。

※【検定料】出願条件を満たしているか確認の上、WEB出願時にクレジットカードでお支払ください。

※【様式1～4】【支弁書】本学院指定フォームです。エントリー完了後に本学院よりエントリー者へメール送信します。

※【受験票】WEB出願のマイページでお知らせします。合格発表時に確認してください。

※【面接方法】WEBカメラ(PC、スマートフォン)で行います。

## 5. 検定料と学費の支払

	納入期限
検定料 15,000 円	1期:2020年3月18日(水) 2期:2020年4月24日(金)
入学金 100,000 円	1期:2020年4月20日(月)
授業料 500,000 円	2期:2020年5月25日(月)

検定料と学費の支払いはクレジットカードで行う。

検定料は出願時に支払、学費は入学手続きの際に別途案内する。(尚、本学院対応のクレジットカードを持っていない等の理由で出願ができない場合は問い合わせを通して連絡すること。)

納付された費用は、入学日前日までに入学辞退手続きを完了した場合、授業料のみ返還する。入学金はいかなる場合でも返還しない。(在留資格認定証明書・ビザが交付されなかった場合でも入学金は返還しない。)在留資格認定証明書が交付された場合、在留資格認定証明書を本学院に返却した後に授業料を返還する。

## 6. 選考方法と合否発表

原則として書類選考及びWEB面接にて選考を行う。

合否発表当日の午前10時、HPとメールで合格者発表をする。合否結果・選考についての質問は受けない。合格者には、合格通知とともに「入国・入学に関する書類」を添付しメールを送付する。

桜美林大学 日本言語文化学院(留学生別科) ([http://www.obirin.ac.jp/japanese\\_extension/](http://www.obirin.ac.jp/japanese_extension/))